

「大師橋」をライトアップします

～ライトアップ企画は令和8年度をもって終了。大師橋の輝きをぜひこの機会に～

川崎市は、多摩川に架かる「大師橋」（橋長 550 メートル）のライトアップを、12月24日（水）から25日（木）までと、12月31日（水）から令和8年1月3日（土）まで実施します。

大師橋は、多摩川下流に架かる斜張橋※として平成9年9月17日から供用を開始し、本市と東京都を結ぶ橋りょうとして広く利用されております。

本ライトアップ企画は、今年で29回目となります。施設の老朽化等による維持管理費の増加や、令和3年度に多摩川スカイブリッジが開通したことによる地域的役割の変化を踏まえ、30回目の節目となる令和8年度をもって終了する予定です。

これまで市民の皆様や多くの来訪者の方々に支えられ、長きにわたり続けてこられたことを、心より感謝申し上げます。

この機会に、長年親しまれてきた大師橋の輝きを、ぜひ見届けにお越しください。

※斜張橋：主塔から斜めに張ったケーブルで橋桁を吊って支える構造



大師橋ライトアップ時：川崎市側から撮影（令和7年10月撮影）

・ライトアップの概要

1 期間（第29回ライトアップ：計6日間）

(1) 令和7年12月24日（水）～25日（木）

(2) 令和7年12月31日（水）～令和8年1月3日（土）

2 点灯時間

17時～24時（大晦日は翌6時まで点灯）



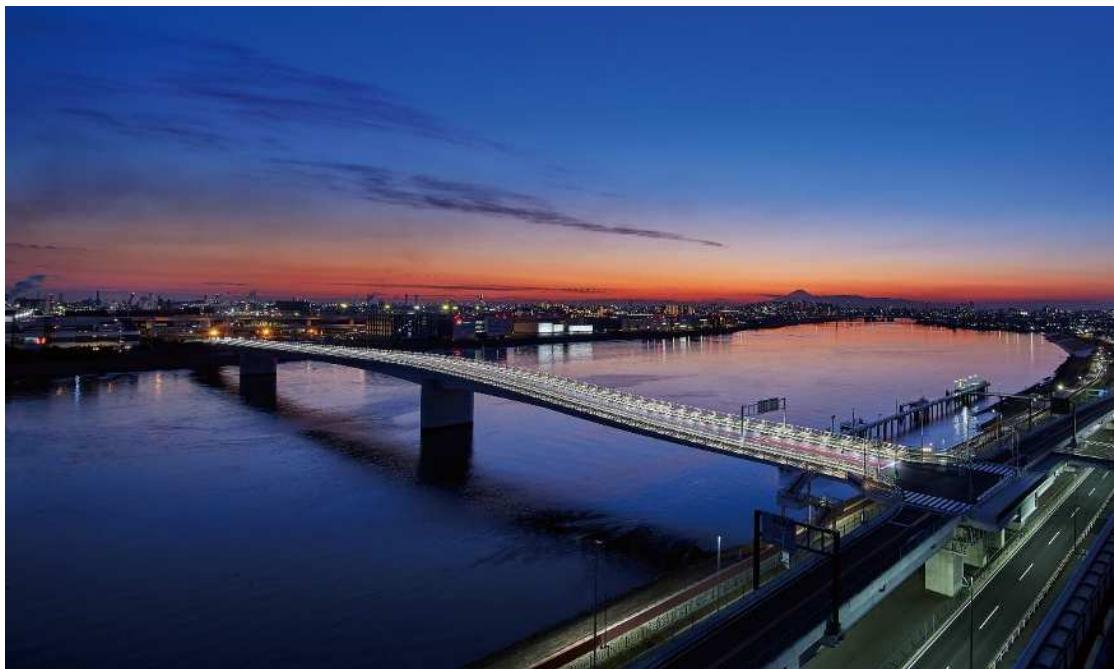
大師橋通常時

・令和8年度におけるライトアップの終了について

大師橋は、「人々のふれあいを感じさせる夜景の演出」や「多摩川最下流の橋としてのサイン効果」といったまちの魅力を発信するため、これまで28回にわたりクリスマスと年末年始にライトアップを実施し、多くの方々に親しまれてきました。

しかしながら、施設の老朽化や更新費用の高騰などにより、維持管理に係る費用が増加するなどの課題が顕在化していることや、令和3年度には下流側に多摩川スカイブリッジが開通し、最下流の橋としての機能や象徴性など、地域的な役割が変化している状況を踏まえ、大師橋は地域の象徴的な存在として広く認知され、夜間景観の魅力向上や地域の一体感の醸成に一定の成果を上げたことから、30回目の節目となる令和8年度をもって終了することとしました。

【参考】多摩川スカイブリッジ夜間：東京都側から撮影（令和4年2月撮影）



（地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成）

場所

主要地方道東京大師横浜（産業道路）大師橋
(川崎市川崎区大師河原1丁目4番地先)

大師橋データ

(下り線) 供用開始：平成9年9月17日
〔下流側〕 橋長 : 550m

(上り線) 供用開始：平成18年11月12日
〔上流側〕 橋長 : 541m

(問合せ先)
川崎市建設緑政局道路河川整備部施設維持課 鈴木
電話 044-200-2818